

各 位

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 上場会社名   | グラウンド・ファイナンシャル・アドバイザー |
| 代表者     | 代表取締役 佐藤明彦            |
| (コード番号) | 8783)                 |
| 問合せ先責任者 | 取締役 平野公久              |
| (TEL)   | 03-5532-1031)         |

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

|                                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
|                                   | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円    | 円 銭         |
| 前回発表予想(A)                         | 96    | 18   | 18   | 18     | 1,196.41    |
| 今回修正予想(B)                         | 69    | △22  | △22  | △32    | △2,126.95   |
| 増減額(B-A)                          | △27   | △40  | △40  | △50    |             |
| 増減率(%)                            | △28.1 | —    | —    | —      |             |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成23年3月期第2四半期) | 25    | △63  | △78  | △79    | △5,268.24   |

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

|                         | 売上高  | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|------|------|------|-------|------------|
|                         | 百万円  | 百万円  | 百万円  | 百万円   | 円 銭        |
| 前回発表予想(A)               | 165  | 10   | 10   | 10    | 664.67     |
| 今回修正予想(B)               | 160  | △29  | △29  | △39   | △2,592.22  |
| 増減額(B-A)                | △5   | △39  | △39  | △49   |            |
| 増減率(%)                  | △3.0 | —    | —    | —     |            |
| (ご参考)前期実績<br>(平成23年3月期) | 64   | △104 | △118 | △120  | △7,983.41  |

#### 修正の理由

当社の主力業務であるストラクチャリング業務については、小額の物件を中心として不動産取引に動意がみられ、また、金融機関の貸出姿勢において次第に改善の兆しが見え始めておりましたが、スキーム組成ニーズに繋がる動きは限定的であり、厳しい受注環境が続いているため、見込み通りの案件獲得には至りませんでした。

また、アドバイザー業務につきましても、企業の資金調達に関する助言業務及び不動産仲介業務等に関して、上述の理由により、クロージングまでに至る案件は少数に留まりました。

利益面につきましては、固定費削減の取組みを継続して行っておりますが、営業収益の減少により、営業利益、経常利益及び当期純利益(四半期純利益)の予想をそれぞれ修正いたします。また、本日付開示「組織変更及び取締役の管掌変更に関するお知らせ」にありますとおり、中国に代表される「成長余力の高いアジア圏」の企業と「先進技術・高品質・成熟したサービス」を保有する日本企業を対象としたM&A案件の獲得を目指すため、人材採用等の先行投資を行ったことにより固定費については増額しております。

今期につきましては、主力業務であるストラクチャリング業務収益の向上や、平成23年3月18日付「新規事業(不動産担保ローン事業)の開始に関するお知らせ」にありますとおり、当社の経営資源を効果的に活用していくため、不動産担保ローン事業を新規事業として立ち上げ、新たな事業の柱としていくことで、営業収益の回復を図ります。また、本日付「組織変更及び取締役の管掌変更に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり、中国をはじめとするアジア諸国を対象としたM&A業務を本格的に展開することで収益の底上げをおこない、事業基盤の拡充を目指して参る所存です。

\* 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上